

6月30日(金)

会場名		講演会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
ポートピアホテル	第1会場	ポートピアホール			9:15-10:45 パネルディスカッション1 がん医療・ケアにおける Patient and Public Involvement (PPI:患者市民参画)	11:00-12:00 特別講演1 自分の中の多様性をひらく			13:35-14:35 特別講演2 「自分らしさ」とは何か -万能薬としての「自分らし さ」の正体		15:20-16:50 特別講演3 ホスピス緩和ケア“5つのエッセンス” -そして自力の精神、利他の心-		17:05-18:05 最優秀演題	
	第2会場	大輪田A	8:30-8:40 開会式	8:40-9:10 大会長講演	パネルディスカッション2 終末期の低血糖発作への対応	優秀演題1 分野1「痛み」	12:20-13:20 ランチョンセミナー1 放射線療法が支える緩和 医療の実際		13:35-15:05 シンポジウム6 緩和ケア領域で「よさそうなこと」を現場 に実装していくために		シンポジウム12 研究初心者のための Tips and Tricks -ヒントとコツ	招待講演1 がん患者の治療と仕事の 両立支援	18:05- 表彰式	
	第3会場	大輪田B+C			パネルディスカッション3 複雑な社会的背景を持つ患者のACP -病院、在宅医療それぞれの立場から-	教育講演1 オピオイドの副作用対策を見直す	ランチョンセミナー2 おくすりに愛される医療者になろう ～鎮痛薬を活かすも埋める もアナ次第～		シンポジウム7 社会的・人文的視点で病院・緩和ケアを見 つめなおす		合同シンポジウム1 進行再発がんのAYA世代がん患者の緩 和ケアを考える 【一般社団法人 AYAがんの医療と支援 のあり方研究会】	教育講演4 がん患者の突出痛治療を考える		
	第4会場	偕楽			パネルディスカッション4 緩和ケアにマインドフルネスとコンパッ ションをどう活かす？	教育講演2 終末期の治るせん妄と治ら ないせん妄-その見分け方 とアプローチ-			パネルディスカッション8 緩和ケア病棟でがん以外の疾患に対応で きるのか		ワークショップ3 がん患者に神経ブロックを適切に提供す るために我々がするべきこと ～地域連携・アクセスを考える	教育講演5 どの職種でも明日からすぐ に使える医療者教育の Tips		
展示場	第5会場	2号館1階北			シンポジウム1 患者・医療者間のコミュニケーションの充 実を目指して	パネルディスカッション6 緩和ケアの専門性って何な の？Complexityという 考え方	ランチョンセミナー3 がんの痛みの治療と医療 用麻薬の自己管理 ～退院後に向けた病棟管 理からの卒業～		シンポジウム8 遺族ケアの今と未来 -遺族ケアガイドラインとその先-		シンポジウム13 終末期ケアエビデンスUp To Date	教育講演6 緩和ケア領域における向精 神薬について学ぼう		
	第6会場	2号館1階南			シンポジウム2 高齢認知症がん患者への緩和ケア	シンポジウム5 つぎにつなげる臨床研究 ～痛みをどう評価するのか ～			パネルディスカッション9 ケミカルコーピングについて考える		シンポジウム14 腫瘍学と在宅緩和ケアの統合	教育講演7 信仰を聞く各宗教におけ る生と死、その後の世界観		
	第7会場	2号館2階A			ワークショップ1 オンラインセミナーのHow to	優秀演題2 分野2「痛み以外の身体症 状」	ランチョンセミナー4 心不全の緩和ケアにおける 薬物療法の位置づけと知つ ておきたい注意点		委員会企画2 高齢者の安全・感染管理と倫理 -何を実践できるのか考えよう- 【安全・感染委員会】		委員会企画4 Advocate for Equitable Access for All: Lessons Learned, Our Efforts and Compassion through working with Developing Countries in Asia 【国際交流委員会】	特別企画 APHNと日本緩和医療学会 の連携の過去・現在・未来～ ホスピス緩和ケアの発展とよ り公平なアクセスを目指して		
	第8会場	2号館3階3A			シンポジウム3 緩和ケアの場で活躍する外科医のための シンポジウム	優秀演題3 分野4「地域・在宅ケア・特 定集団に対する緩和ケア」	ランチョンセミナー5 がんサバイバーシップと緩 和支持療法		委員会企画3 日本緩和医療学会の広報活動を考える: 集まれアンバサダー! 【広報委員会】		委員会企画5 緩和医療学会のネクストステージ～緩和 医療学会が次の5年すべきこと～ 【将来構想委員会】	パネルディスカッション12 患者を護るあたらしい手と 目:非接触型モニタリングを 用いた終末期ケアへの期待と 展望		
	第9会場	2号館3階3B				12:00-12:20 PAL オリエンテーション		PAL企画1 がん医療・ケアにおける Patient and Public Involvement(患者市民参 画)をPAL目標でさらに深め よう						
	第10会場	1号館2階A			パネルディスカッション5 緩和ケア×エリエゾンチーム ～精神疾患のある患者を支える～	パネルディスカッション7 専門家が関わっていない 鎮静の安全性を高めるため に緩和ケアチームができ ること			パネルディスカッション10 がん薬物療法による皮膚障害のケア		ワークショップ4 苦痛を伴うケアをいつまでするか ・実践者に聞いてみよう！		教育講演8 緩和ケアにおける便秘の対 応	
	第11会場	1号館2階B			シンポジウム4 終末期がん患者のADLをあきらめない	教育講演3 呼吸困難に対する薬物療 法を再考する			シンポジウム9 がん治療から終末期までの、口腔トラブ ルの緩和ケア		パネルディスカッション11 患者力を身体症状マネジメントにつなげ る		招待講演2 緩和ケア従事者が知ってお くべきLGBTQsの知識	
会議場	第12会場	会議場メインホール			ワークショップ2 緩和ケアの臨床で高流量鼻カニュラ酸素 療法を活かす	優秀演題4 分野5「終末期ケア・専門的 緩和ケア(緩和ケア病棟・緩 和ケアチーム等)」	ランチョンセミナー6 がん患者の不眠への対応 ～安全性に配慮した不眠症 治療薬の選択について～		シンポジウム10 私達はどのようにキャリア選択を行って きたか		シンポジウム12 到死性慢性疾患患者の心理過程、病気の 受容や対処行動		教育講演9 ここまでできる！疼痛緩和 のためのIVR～その潜在的 な力を知っておこう	
	第13会場	301			委員会企画1 緩和医療における診療報酬 ～現場の課題抽出、エビデンス構築、診療 報酬化、実装までの道筋を探る～ 【健康保険・介護保険委員会】	優秀演題5 分野6「教育・啓発普及・研 究方法・その他」	ランチョンセミナー7 難治性のがんの痛みへのアプ ローチ～評価からメサドンや 侵襲を伴う治療法まで、どう 考えてどう対応するか～		シンポジウム11 緩和ケアにおけるポリファーマシー		委員会企画6 医師のためのキャリアパス座談会 【教育・研修委員会】		シンポジウム16 緩和ケアにも活かす公衆衛 生学的観点	
		401+402(中継)												
	第14会場	501			9:15-10:15 交流集会1 終末期の家族支援～親を亡くす 子どもに対して私たちは何がで きるのだろう～Part2	交流集会3 はじめて触れる哲学 ～哲学チックな自分を見つ けよう～			交流集会5 緩和ケアやACPに関わる 司法書士・ライフプランナー と話してみませんか？～実 例を交えて～		交流集会7 緩和ケアや研修会の「がん患 者等への支援」でがん体験 者の講演を効果的な学び に繋げるには		交流集会9 緩和ケア×ベンチャー 繫 がって変わる、未来の緩和 医療	
	第15会場	502			交流集会2 がん患者で苦しむ患者と家族 への多職種でのボリスティックマ ルチモーダルケアの開発・医療者 の教育と患者と家族の教育-	交流集会4 俳句を詠んでみよう・ふた たび「悲嘆を詠む」			交流集会6 緩和ケアと効率重視の日常業務。双 方を主張するスタッフ同志の衝突 の本質とその打開策について一燃 え尽きて辞める前にすること		交流集会8 がんの療養中の方とその家族に向けて今 後の見通しを話さうために 現状確認 ツールIMADOKOを使って話してみた。そ の経験をシェアしよう！～一般市民とし て・看護師として・医師として～		交流集会10 コンパッション都市実現に向け て、私たちは何ができるのか？ ～ユニバーサル・ホスピスマイン ドを社会実装する可能性を探る～	
展示場	ポスター会場	展示場1号館1階		8:30-11:30 ポスター貼付				13:35-14:35 ポスター発表①						
		展示場1号館 3号館1階												

7月1日(土)

会場名		講演会場	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
ポートピアホテル	第1会場	ポートピアホール		8:30-10:00 特別講演4 がん患者の精神症状緩和のあゆむべき道「これまで」と「これから」を盟友・森田達也先生と考える		10:15-11:45 シンポジウム22 緩和ケア普及啓発の地域展開-行政・拠点病院・地域社会の取り組みを活かす-			13:20-14:20 特別講演5 「孤独な最期」のつくり方 ~面会制限は緩和ケアをどう壊したか~		15:05-16:35 特別講演6 スピリチュアルケア -対話を通して紡ぐケアリング-			
	第2会場	大輪田A		シンポジウム17 緩和ケアが中心となった時期における消化管内視鏡/IVRの適応を考える		シンポジウム23 緩和ケアにおける自殺と希死念慮 ~自殺を防ぎ、対処するために医療者は何をすべきか~		12:05-13:05 ランチョンセミナー9 改めて考え直す"がん性疼痛"治療:病態別アプローチと実践		13:20-14:50 委員会企画10 治療抵抗性の苦痛と鎮静の手引き 2023年版 改訂のポイント 【ガイドライン統括委員会】		16:35- 閉会式		
	第3会場	大輪田B+C		パネルディスカッション13 高齢者の痛みのこえを聴き生活を支える		シンポジウム24 緩和ケアに従事する医療スタッフの精神 心理的健康を維持する								
	第4会場	偕楽		シンポジウム18 これから在宅緩和ケア研究&教育をどうしてゆくか?		パネルディスカッション14 緩和ケアにおける適応外使用・院内製剤を考える		ランチョンセミナー10 Cancer Journeyと痛み		パネルディスカッション18 せん妄存在下での疼痛緩和の困難さとの対応				
展示場	第5会場	2号館1階北		合同シンポジウム2 第4期がん対策推進基本計画で期待される 緩和医療・サイコオンコロジー ~2024合同大会に向けて~ 【一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会】		パネルディスカッション15 在宅緩和ケアを活かすために必要な制度 上の理解と課題 -病院と地域の緩和ケア連携-		ランチョンセミナー16 免疫チェックポイント阻害薬 治療を受けているがん患者 の緩和ケアに携わる医療者が 知りたいこと		教育講演10 患者や家族の「選ぶ」・「決める」・「納得」の裏にあるもの		ワークショップ6 コロナによる分断を乗り越える -つながりを取り戻すための奮闘-		
	第6会場	2号館1階南		シンポジウム19 看護ケアの最新エビデンス UP TO DATE		合同シンポジウム4 救急・集中治療における緩和ケアチームの関わりについて考える 【一般社団法人 日本救急医学会/一般社団法人 日本集中治療医学会/一般社団法人 日本循環器学会】			シンポジウム26 緩和ケアにおける Narrative Medicineアプローチの可能性:聴く力を磨く		合同シンポジウム6 在宅医療における専門的緩和ケアのスキルアップを考える 【日本在宅医療連合学会】			
	第7会場	2号館2階A		ワークショップ5 入院中のオピオイド自己管理へ向けた取り組み		シンポジウム25 骨の悲鳴に耳を傾ける!骨を支え、希望 につなぐための多職種による集学的治療			優秀演題8 分野2「痛み以外の身体症状」		15:05-16:05 優秀演題11 分野3「精神心理的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケア」			
	第8会場	2号館3階3A		委員会企画7 緩和系研究でグラントを取るコツ 【学術委員会】		委員会企画9 緩和ケアを語り聴き癒しあおう ~緩和ケアに携わる看護師のための悩み・相談アース~ 【教育・研修委員会】			優秀演題9 分野4「地域・在宅ケア・特定集団に対する緩和ケア」					
	第9会場	2号館3階3B				11:45-12:05 PAL オリエンテーション		PAL企画2 緩和ケアの課題と今後への期待~第4期がん対策推進 基本計画から考える~		PAL企画3 PAL退院前模擬カンファレンス ~治療とケアのゴールを話し合ってみよう~				
	第10会場	1号館2階A		シンポジウム20 周産期の緩和ケア		パネルディスカッション16 悪性腹水、抜いやダメなの?		ランチョンセミナー11 チームで支える、がん患者 さんの食と栄養 ~悪液質を含めて~		招待講演3 苦や死に向き合う患者・家族との対話とケア		パネルディスカッション20 精神心理的苦痛を評価する		
	第11会場	1号館2階B		合同シンポジウム3 生きるを支える、症状緩和 【一般社団法人 日本乳癌学会】		合同シンポジウム5 様々なGapを埋め「生きる」を応援するア ドバансケアプランニング 【一般社団法人 日本乳癌学会】		ランチョンセミナー12 看護師だからこそ、ここまでできる! -症例から読み解くがん疼痛治療のポイント-		教育講演11 デスカンファレンスを考え る		パネルディスカッション21 どうしようもない会陰部痛・肛門痛の治 療戦略		
会議場	第12会場	会議場メインホール		シンポジウム21 YA世代の患者のACP、どこで誰とどのように過ごしたいのか -地域連携におけるポイント-		パネルディスカッション17 緩和ケアでの人工的栄養水分補給		ランチョンセミナー13 多職種で考えるがんゲノム 医療		優秀演題10 分野5「終末期ケア・専門的 緩和ケア(緩和ケア病棟・緩和ケアチーム等)」		パネルディスカッション22 がん悪液質のもたらす苦痛をどうマネジ メントするか		
	第13会場-1	301		委員会企画8 専門医・認定医フォーラム どう変わる?専門医制度 【専門医認定委員会・専門医育成・教育委 員会】		10:15-11:15 優秀演題7 分野1「痛み」		ランチョンセミナー14 緩和医療における口腔ケアの ポイント~口腔カンジダ症の 診断と治療 口腔粘膜付着型 抗真菌薬の使用法~		パネルディスカッション19 心不全の緩和ケアは普及しているのか		委員会企画12 男女共同参画推進と緩和医療従事者の ワーク&ライフバランス ~日本緩和医療学会での取り組み~ 【総務・財務委員会】		
	第13会場-2	401+402(中継)				交流集会13 輸血依存患者の終末期における意思決定支援~血液悪性腫瘍を中心とした支援~		ランチョンセミナー15 その人らしい治療や療養を を目指して~高齢がん患者への支援~						
	第14会場	501		8:30-9:30 交流集会11 患者力がリアルワールド ACPのキーワード!!		交流集会14 『ナラティブ・メディシン』の 実践体験と情報交流の場			交流集会16 緩和領域において、より良いリハビリテーションを提供するために我々にできることとは		交流集会18 積極的治療を離れる現実を前に、医療枠を超えた意思決定支援の可能性を探る~体験者に 力を借りた症例(ビデオ鑑賞)で考える~			
	第15会場	502		交流集会12 多職種協働が変える骨転移患者 の人生~骨転移患者が最期まで 「自分らしく生きる」を支える治療・ケアを考えよう~		交流集会15 地域における小児緩和ケア の今と未来を話し合おう!			交流集会17 ACPを病院や地域で広めるためのコツってありますか? (PART II)~ACPのための チームビルディングとは~		交流集会19 臨床宗教師と医療者との 協働と可能性の発展を探る			
展示場	ポスター会場	展示場1号館1階								13:20-14:20 ポスター発表②		15:00-16:30 ポスター撤去		
		展示場1号館 3号館1階												

下記のセッションは事前収録動画となり、会期中に講演会場での上映は行いません。
各種配信を視聴いただくサイトにて、大会当日より視聴いただけますので後日改めてご確認ください。

海外招待講演1	How do monoamines influence pain processing and modulation
海外招待講演2	Assessment and management of cancer-related fatigue
海外招待講演3	Nurse-led holistic multimodal care for cancer cachexia
海外招待講演4	海外における「おひとり様」の緩和ケア
海外招待講演5	Palliative care for children with cancer
海外招待講演6	Why Don't We Talk About End of Life?
海外招待講演7	Public health in palliative care